

特別展

# ク日 ジ本 ラ人と



平成28年  
10.8(土)-12.4(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時  
(発券は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(10月10日は開館)  
10月11日(休)

観覧料	一般	800円(700円)
	シルバー	700円(600円)
	小中高校生	300円(200円)

※常設展もご覧いただけます。  
※( )内は20名様以上の団体料金  
※シルバーは65歳以上の方  
※入場口で身分証明書(免許証・保険証等)を  
ご提示いただく場合がございます。  
ご了承ください。

主催：東北歴史博物館

共催：河北新報社 / NNN 仙台放送局

後援：多賀城市 / 多賀城市教育委員会 / 多賀城市観光協会 / 多賀城・七ヶ浜商工会 /

TBC東北放送 / 仙台放送 / KHB東日本放送 / ミヤギテレビ /

朝日新聞仙台総局 / 毎日新聞仙台支局 / 読売新聞東北総局 / 産経新聞社東北総局 /

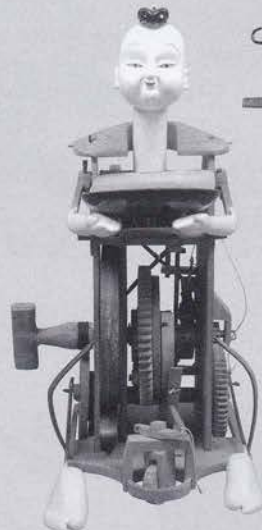
エフエム仙台 / 宮城ケーブルテレビ

芸術銀河共催事業

## 東北歴史博物館 TOHOKU HISTORY MUSEUM

JR東北本線国府多賀城駅となり / 三陸自動車道「多賀城IC」から車で約5分

クジラの祖先(バキケトウス)  
(約5000万年前) 太地町立くじらの博物館



クジラヒゲの  
ぜんまいで動く人形(複製)  
(原資料は江戸時代) 太地町立くじらの博物館



クジラの竜田揚げの給食  
(昭和27年頃) 埼玉県学校給食歴史館



鯨の解体の様子を描いた浮世絵(日本名産展 歌川国芳) 勇魚文庫

# 日本人とクジラ

特別展

捕鯨モリ  
(三重県尾鷲市・江戸から明治)  
尾鷲市中央公民館



鯨油で作った石鹸  
(アメリカ 20世紀) 勇魚文庫



鯨の大漁を記念した着物(重要有形文化財 マイワイ)  
(千葉県館山市 昭和) 館山市立博物館



鯨魚のレットル  
(石巻市 戦前) 勇魚文庫

四方を海に囲まれた日本列島に住むわたしたちは、古くから海とのかかわりを持ち、多くの恵みを海から授かって来ました。「クジラ」もそうした授かり物のひとつで、その歴史は長く、古くは縄文時代まで遡る事ができます。なかでも宮城県は近代捕鯨の中心的基地をかかえ、クジラとのかかわりの深い地域でした。「クジラ」は、ある時は食料として、ある時は祭の主役として、またある時は芸術の対象として私達の暮らしの中の様々な場面にあられます。

この展示では、日本人とクジラのかかわりを「クジラ文化」と捉え、それを紹介します。



クジラヒゲで作られたオランダ船  
(長崎 昭和) 個人



輸出用のプリキのおもちゃ  
(1955年) 勇魚文庫

## ■ 展示解説会

毎週日曜日 午前11時～ 場所:特別展示室 担当:当館職員  
(特別観覧券チケットが必要です。)

案内情報

※本展覧会の半券提示で、宮城県美術館特別展「ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ」[会期:2016年11月13日(日)まで]を100円割引でご覧いただけます。(美術館窓口にお持ちください。)

今回の展覧会

## 特別展「工芸継承」

2017年1月14日(土)～2月26日(日)

昭和3年、工芸品の近代化とデザイン開発を目的に国立工芸指導所が仙台に設置されました。この展覧会では工芸指導所の目指したものを、現在の工芸の置かれた状況と重ね合わせながら紹介します。

# 東北歴史博物館 TOHOKU HISTORY MUSEUM

〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1  
TEL 022-368-0101(代) FAX 022-368-0103(代)  
Email: thm-service@pref.miyagi.jp

お問い合わせ専用番号

TEL.022-368-0106

東北歴博

検索



## JR線をご利用の方

- 仙台駅から14分 JR東北本線「国府多賀城駅」となり
- JR仙石線「多賀城駅」下車 徒歩25分またはタクシー約10分

## お車をご利用の方

- 三陸自動車道「多賀城IC」から車で約5分
- 国道4号線苦竹インターから国道45号線を塩釜方向に8km(約25分)
- 仙台港フェリーターミナルから15分
- 無料駐車場(191台・大型バス10台)

この印刷物は再生紙を使用しています。

